

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	中心市街地活性化支援事業				シート番号	015-012
担当部署名	産業振興	局	商工労働	部	商業流通	課 評価責任者(課長名) 新村

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	4	産業を振興し、地域の持続的発展を支えます	後期実施計画の位置付け
			施策	5	まちの魅力向上につながる商業機能の充実	有
	2	事業開始年度	平成 19 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	中心市街地活性化法等			
	4	関連計画	堺市産業振興アクションプラン、堺市中心市街地活性化基本計画			
5	事業実施の経緯	平成27年3月に認定を受けた堺市中心市街地活性化基本計画に基づき、地域の関係者が主体となって、中心市街地のまちづくり及び賑わい創出のための事業を行っている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	中心市街地活性化協議会(事業者・企業・地域住民)関係者、市民及び来街者。			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	中心市街地において、商店街等の主体的なまちづくり事業を促し、魅力ある商業地の形成、回遊性の向上、賑わいの創出等、商店街の活性化を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	中心市街地活性化協議会や意欲ある事業者等が、自主的、主体的に取り組む放置自転車対策、バル事業等の各種事業の支援を行なう。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
		中心市街地活性化協議会等				

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費 (a)	千円	5,402	4,187	8,475	6,290	23,825	5,966	5,434
	中心市街地まちづくり支援事業	千円	5,000	3,882	8,000	6,004	8,000	512	5,000
	中心市街地まちなか集客力向	千円	-	-	-	-	15,350	5,342	-
	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	一般財源	千円	5,402	4,187	8,475	6,290	23,825	5,966	5,434
12	人件費 (b)	千円	5,740	5,740	5,740	5,822	7,614	7,614	4,920
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	11,142	9,927	14,215	12,112	31,439	13,580	10,354

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	中心市街地活性化支援事業	シート番号	015-012
-------	--------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	中心市街地において、中心市街地活性化協議会を通じて商店街内で行われる各種事業や、ガン横・ガンフリ事業、バル事業等が開催されており、それらの活動支援を実施。 ガン横・ガンフリ事業や、バル事業等の実施回数を重ねるにつれて、それぞれの活動の認知度も高くなり、地域のイメージアップと賑わいを創出するとともに、地元商店街及び企業団体、多様な関係者等が連携する機会が増えた。						
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		〈中心市街地〉歩行者通行量	人	目標値	4,245	4,317	4,390	4,390
				実績値	3,465	3,232	3,982	
				達成率	82%	75%	91%	
				評価	普通	少し悪い	普通	
		算出方法・設定根拠など		中心市街地活性化基本計画(平成24年の3,885人/日を基準に、令和2年で4,390人を目標とする(約505人/日の増加))				
		16	ガンバルチケット販売枚数	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標値	8,204	8,268	7,924	7,808
				実績値	8,268	7,924	7,808	
				達成率	101%	96%	99%	
				評価	良い	普通	普通	
				ガンバル(堺東まちなか“逸品バル”)のチケット販売枚数				

事業の効率性

区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	〈中心市街地〉歩行者通行量	人	3,465	3,232	3,982
	②	上記①にかかる年間経費	千円	9,622	11,826	8,126
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	2,777	3,659	2,041
	備考(算出についての説明等)					
区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)

本事業は、中心市街地にある商店街等の主体的・積極的な取組みを支援している。中心市街地地域では、毎月のガン横・ガンフリ事業や、年1回のガンバル事業、その他中心市街地活性化協議会を通じた事業など、様々な取組みが積極的になされているが、歩行者通行量は、目標値を下回る結果となった。
歩行者通行量は、調査当日の天候の影響を少なからず受けていると考えられるが、ジョルノビルの建て替えなども影響していると考えられる。
今後は、コロナウイルス感染症拡大の状況によっては通行量が減少する可能性もあるが、社会経済活動を取り戻す事業を実施し、賑わい創出に取り組んで行く。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	中心市街地活性化支援事業	シート番号	015-012
-------	--------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 新型コロナウイルス感染症拡大により、商店街を取り巻く情勢は厳しく、社会経済活動を取り戻すためにも、中心市街地活性化は必要である。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 3年毎に実施している商圏実態調査(前回実施平成30年度)の買物動向アンケート結果によると、中心市街地が位置する堺区民の7割が駅前商業施設や商店街の衰退について問題であると回答しており、市民ニーズに答えられなくなる。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 堺市中心市街地活性化基本計画の中で位置づけた事業に対する支援であり、優先度の高い事業であるため。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 既存の補助事業で、3密対策を行ったうえで実施するイベント等を補助する事が可能である。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 エリアマネジメントの考え方に基づいた民間事業者等の取組を強化する。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 中心市街地のさらなる活性化に向けて、エリアマネジメントの考え方に基づいたまちづくり、商業活性化を支援していく。新型コロナウイルス感染症拡大により、商店街を取り巻く情勢は厳しいが、社会経済活動を取り戻すために既存の補助事業を活用し、必要な支援を実施する。		